



Christopher Dresser
Japan: its architecture, art, and art manufactures
London, 1882

C.ドレッサー『日本：その建築、美術、工芸』

著者のドレッサー(Christopher Dresser, 1834-1904)は19世紀後半に英国で活躍したデザイナー。1859年から1868年までサウス・ケンジントン博物館で植物学の講義を担当していた。

1862年ロンドン万国博にオールコック(Rutherford Alcock, 1809-1897)初代駐日英国公使が収集・出品した日本工芸品に感銘し、作品を購入しスケッチを行う。その後1876年に上野博物館(現東京国立博物館)収蔵のための美術品を携えて来日した。天皇に謁見し、日本各地の美術工芸品の生産地や神社仏閣などを見学。3か月ほど日本に滞在したのち帰国した。

本書はドレッサーの日本美術探訪記として1882年にロンドンで出版された。日本建築のデザインや装飾美術など優れた意匠を多くの図版を交え解説した大著。当時の日本国内情勢を伝える貴重な資料であり、風俗、地理、社会情勢などにも筆を割いている。ヨーロッパに日本の建築や美術を紹介し、ジャポニスム運動の展開にきわめて重要な役割を果たした1冊。